

Book Review Corner

ブックレビューコーナー



- ① 東京農大オランダ100の
素顔編集委員会 編

『オランダ100の素顔』

(東京農業大学出版会)

西暦2000年(日蘭交流400年の年)に東京農大の教職員十数名がオランダ農業調査団として派遣された時の報告書です。

オランダの自然や文化、生活などが体験を通して事細かに書かれています。

一般の旅行案内とはひと味違った、生活感あふれるおもしろいガイドブックになっていますので皆さんも是非一読してみてください。きっと「え、そうなの?」と思われることでしょう。

293.59-Oran (N.K.)



- ② 澤田一矢 著

『生かしておきたい江戸ことば450語』

(三省堂)

昔は日常の言葉として使われていた「江戸言葉」ですが、最近はITの普及や読書離れなどによってすっかり「死語」に近いものとなってしまいました。皆さんの会話の中でもほとんど使われなくなっていると思います。

本書では「阿漕(あごぎ)」や「鯿背(いなせ)」などの江戸言葉を多数収録しその語源や意味を紹介しています。時代劇や古典芸能の中で出てくる言葉もたくさんあります。皆さんはどれだけご存じでしょうか?

814-Saw (H.M.)

- ③ 松本茂 著

『日本語ディベートの技法』

(七賢商會出版部)

みなさんは、ディベートについてどれだけ知っていますか? 「ディベートって何?、なぜ?、そしてどうやるの?」。そんな素朴な疑問に答える1冊です。ディベートの定義から、実際のノウハウ、そして実社会でなぜディベートが必要とされているのかなどをわかりやすく解説しています。

ディベートは、ゼミなどの発表だけでなく、社会に出てからも必要不可欠になってきています。これを読んで、ディベートについて勉強してみませんか。

809.6-Mat (S.S.)



- ④ E. W. サイド 著

中野真紀子, 早尾貴紀 共訳

『戦争とプロパガンダ』

(みすず書房)

エドワード・W・サイド。エルサレム生まれのニューヨーカーであり、現代を代表する知識人のひとりであります。<9.11>から始まる「テロ撲滅戦争」は彼の目にはどう映ったのでしょうか。はたして正義に裏打ちされた戦争だったのか、それともブッシュ政権が愛国ムードを煽った身勝手な戦争だったのか。

他文化を知ろうとする学生には、ニューヨーク市民にもイスラーム世界の民衆にも「わたしたち」と呼びかけるサイドのことにぜひ耳を傾けていただきたいものです。

316.4-Sai (S.N.)